

新入社員アンケート調査 報告書

平成27年6月

目 次

| | |
|----------------------|-----|
| 1. はじめに----- | 1 |
| 2. 結果概要----- | 2 |
| 3. アンケート調査結果----- | 3 |
| 4. 自由意見----- | 1 4 |
| 5. 新入社員アンケート調査票----- | 1 6 |

1 はじめに

昨年6月、建設業の担い手対策を進めるため、品確法を中心に密接に関連する入契法、建設業法が衆参本会議において全会一致で可決・成立し、公布されました。

改正品確法では、基本理念に「将来にわたる公共工事の品質確保とその担い手の中長期的な育成・確保」が追加され、本年1月には発注者が自らの発注体制や地域の実情等に応じて、発注事務を適切かつ効率的に運用するための共通の指針である運用指針が定められ、本年4月から施行されました。

こうした法改正に先立ち社会保険未加入対策については、平成29年度以降を目途に企業単位では許可業者の加入率100%、労働者単位で製造業相当の加入状況を目指した対策が進められています。

いずれも建設業の担い手対策を推進するための施策であり、官民挙げて若年者の建設業への入職促進に努力しているところです。

群馬県建設業協会でも、平成27年度の行動指針を「入ってみたい建設業」から「入ってよかった建設業」へ、とし、具体的な方策の展開として、◇人材確保・育成の取組み、◇生産性向上の取組み、を掲げて努力しているところです。

本新入社員アンケート調査は、◇人材確保・育成の取組み、の一つとして本年4月16日に当会が開催した新入社員研修会に参加された新入社員を対象に実施したものです。

調査の趣旨は、実際に建設業を選んで就職された方々に入職の動機や建設業のイメージ、更には、若者を一人前に育てるための会社の努力をお聞きすることによって、建設業の現下の課題である若年者の入職促進のヒントがあると考えたからです。

建設業の担い手対策に関する資料として、本調査結果が関係する皆様方の参考になれば幸甚の至りです。

2. 結果概要

◇調査概要

調査日 平成27年4月16日

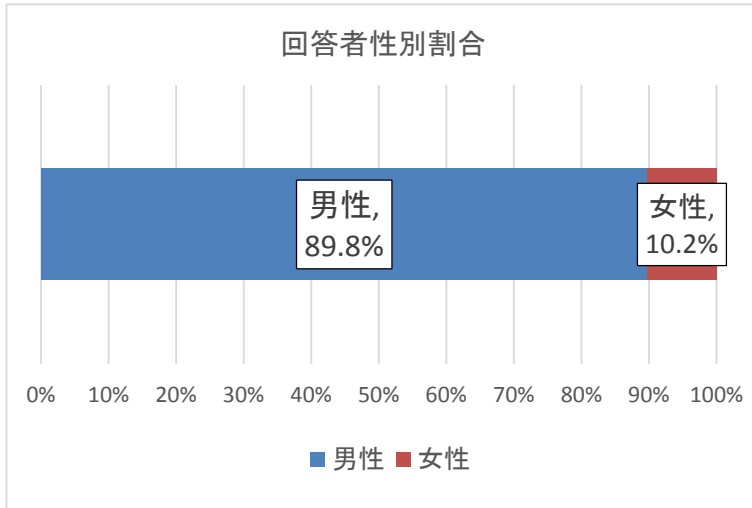
調査対象 一般社団法人群馬県建設業協会が開催した新入社員研修会参加者89名

回答数 88名

回答率 98.8%

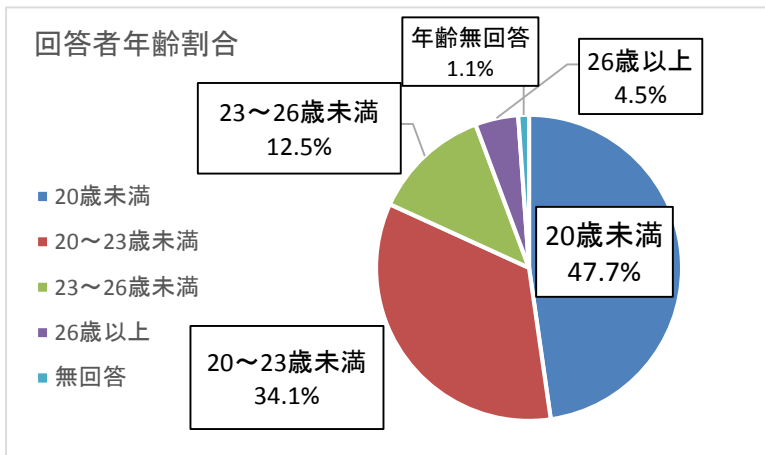
◇回答者の属性

(1) 回答者の性別割合



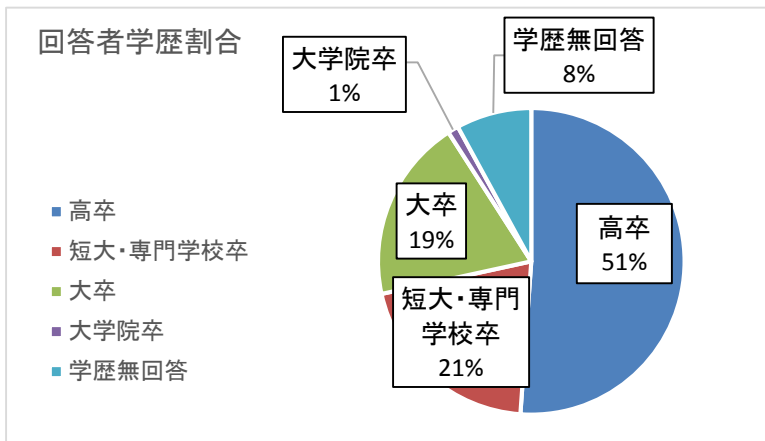
| 性別 | 回答数 |
|----|-----|
| 男性 | 79 |
| 女性 | 9 |

(2) 回答者の年齢割合



| 年齢 | 回答数 |
|----------|-----|
| 20歳未満 | 42 |
| 20~23歳未満 | 29 |
| 23~26歳未満 | 11 |
| 26歳以上 | 4 |
| 年齢無回答 | 1 |

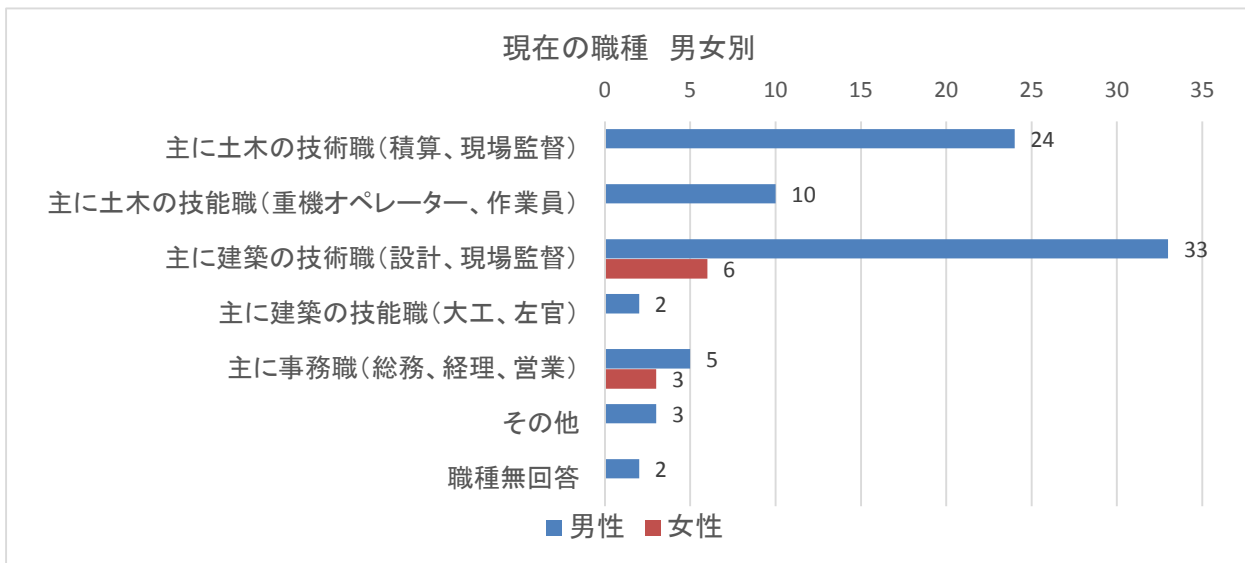
(3) 回答者の学歴割合



| 学歴 | 回答数 |
|----------|-----|
| 高卒 | 45 |
| 短大・専門学校卒 | 18 |
| 大卒 | 17 |
| 大学院卒 | 1 |
| 学歴無回答 | 7 |

3. アンケート調査結果

問1 現在の職種について



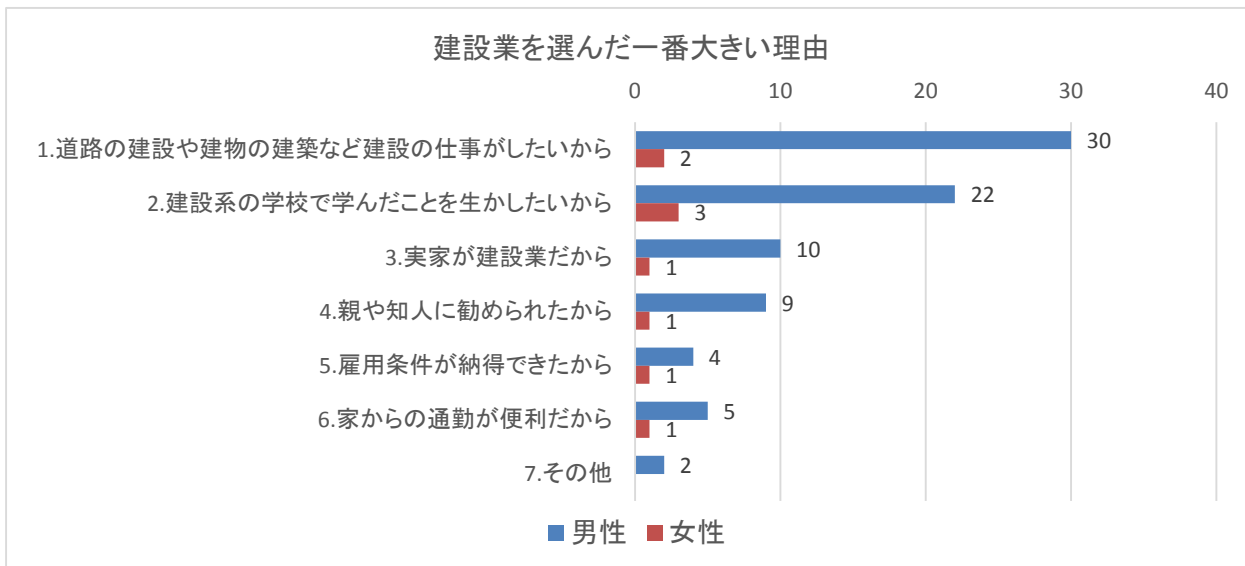
※その他

- ・鉄骨加工
- ・コンクリート試験
- ・鉄骨工

技術職が、(土木24名、建築39名)63名で71.6%、技能職が、(土木10名、建築2名)12名で13.6%、主に事務職が8名で9%だった。

問2 職業として建設業を選んだ一番大きな理由

※1つのみの選択であったが、複数回答も含む。

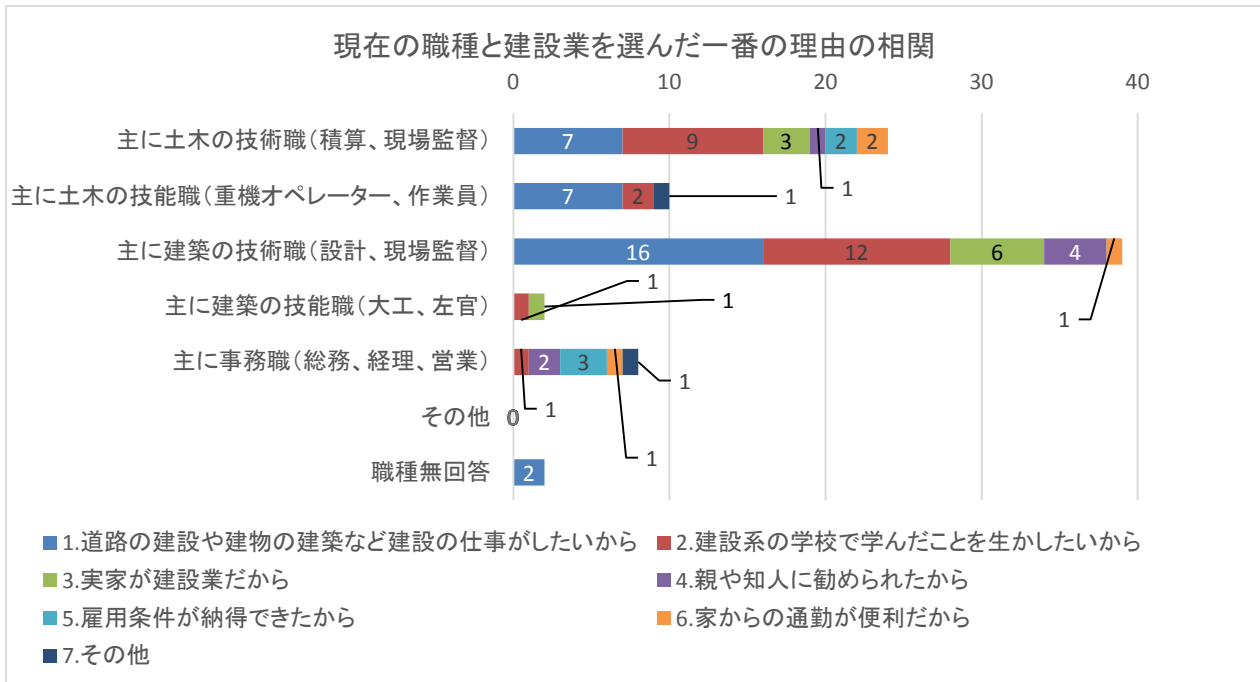


※その他

- ・学校の職活センターで勧められたから

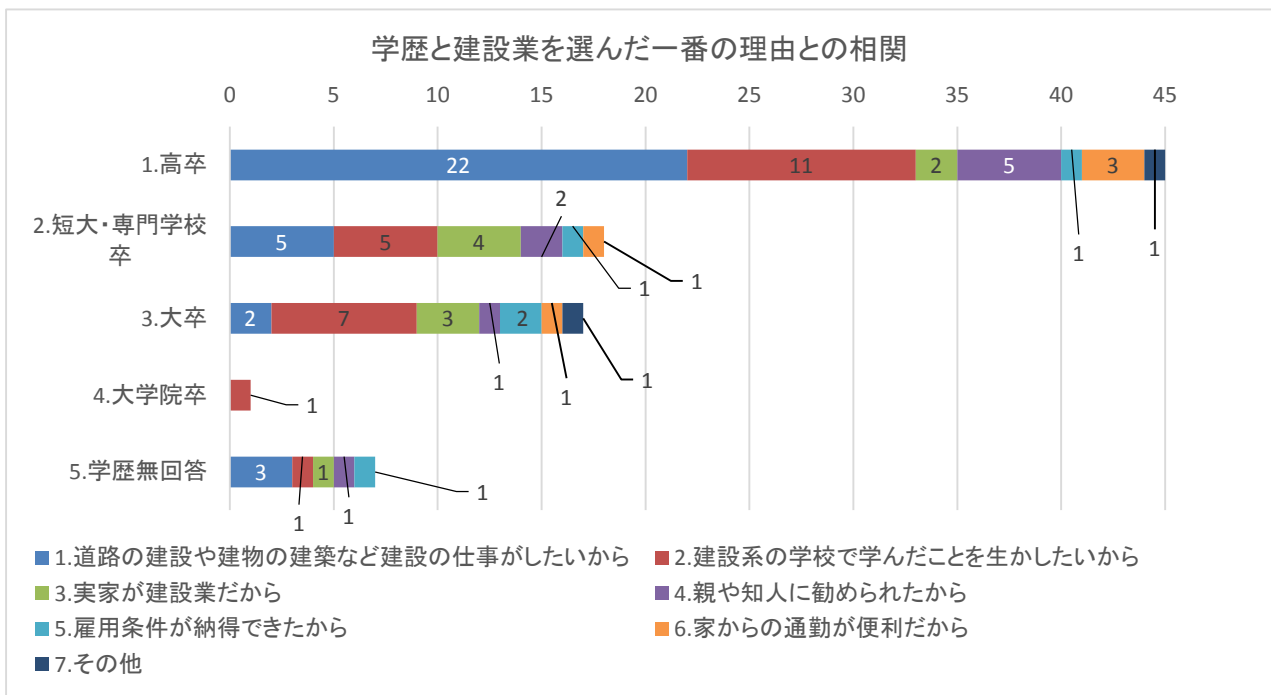
「建設の仕事がしたい」が35.4%、「建設系の学校で学んだことを生かしたい」が27.5%、「実家が建設業だから」が12.1%だった。

【現在の職種と建設業を選んだ一番大きい理由との相関（問1と問2の相関）】



「建設の仕事がしたいから」の他、サンプル数は少ないが、技術職と技能職を比較すると、技術職の方が「建設系の学校で学んだことを生かしたい」が多い傾向だった。

【学歴と建設業を選んだ一番の理由との相関（学歴と問2との相関）】



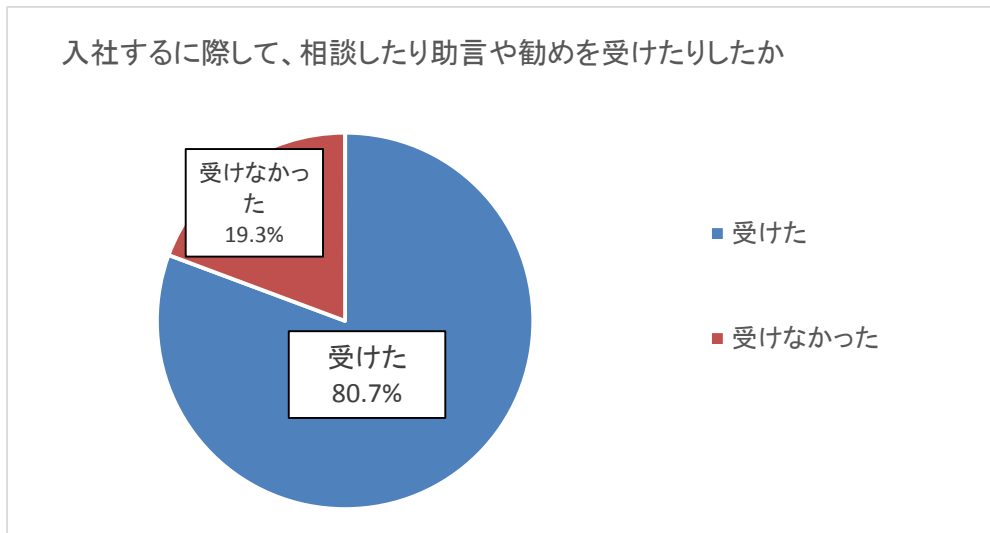
※その他

- ・学校の職活センターで勧められたから

「建設の仕事がしたい」の他、サンプル数は少ないが高学歴の方が「建設系の学校で学んだことを生かしたい」が多い傾向だった。

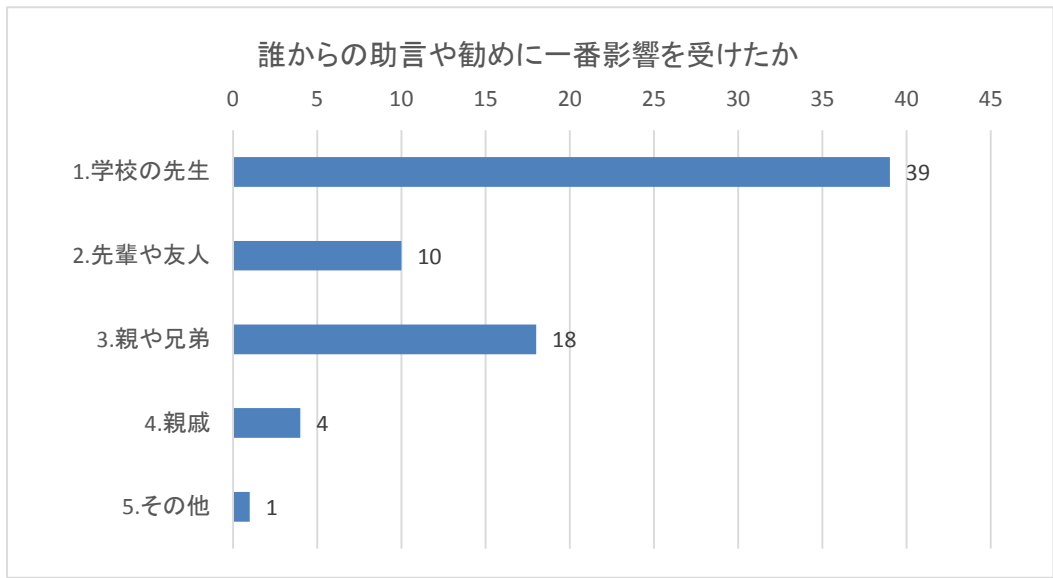
問3 入社するに際して、相談したり助言や勧めを受けたりしたか

| | 回答数 |
|--------|-----|
| 受けた | 71 |
| 受けなかった | 17 |



入社するに際して約8割が「相談したり助言や勧めを受けたりした」と回答。

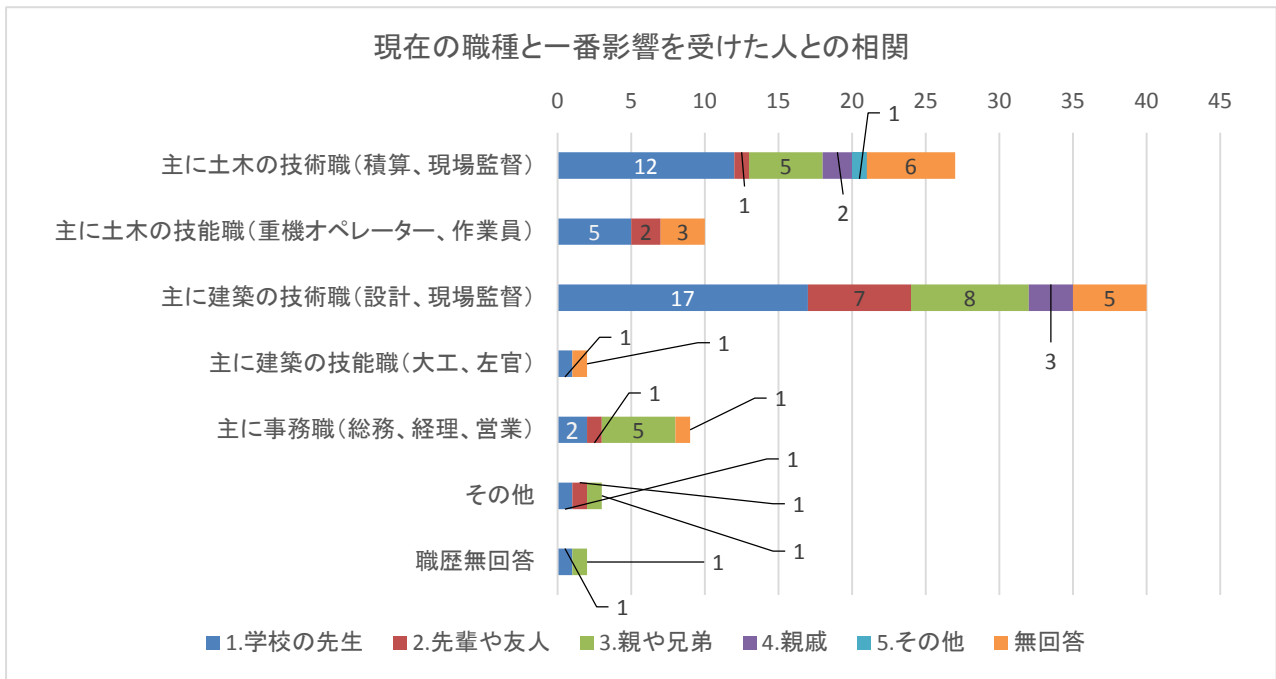
問3-2 問2で「受けた」場合、誰からの助言や勧めに一番影響を受けたか



※その他
・当時同じ職場のOB

「学校の先生」が54.2%で一番多く、次に「親や兄弟」が25.0%、「先輩や友人」が13.9%で続いた。

【現在の職種と一番影響を受けた人との相関（問1と問3-2の相関）】

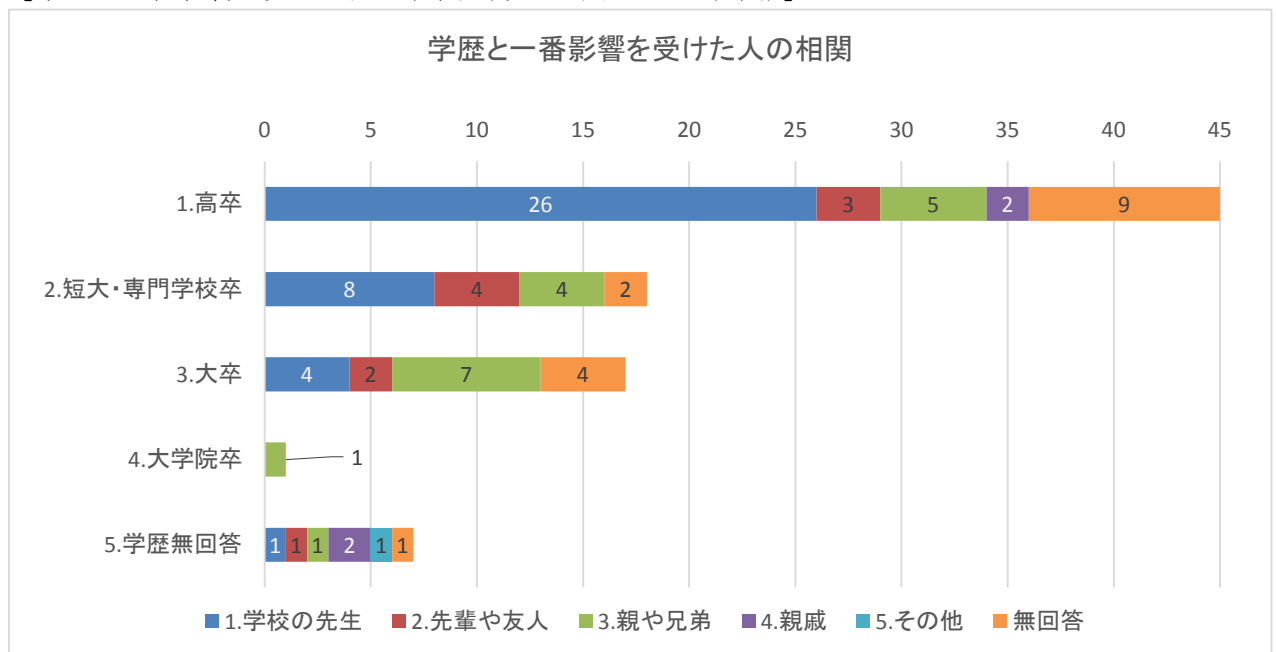


※その他

- ・鉄骨加工
- ・コンクリート試験
- ・鉄骨工

職種別にみても「学校の先生」が多かった。

【学歴と一番影響を受けた人の相関（学歴と問3-2の相関）】



※その他

- ・当時同じ職場のOB

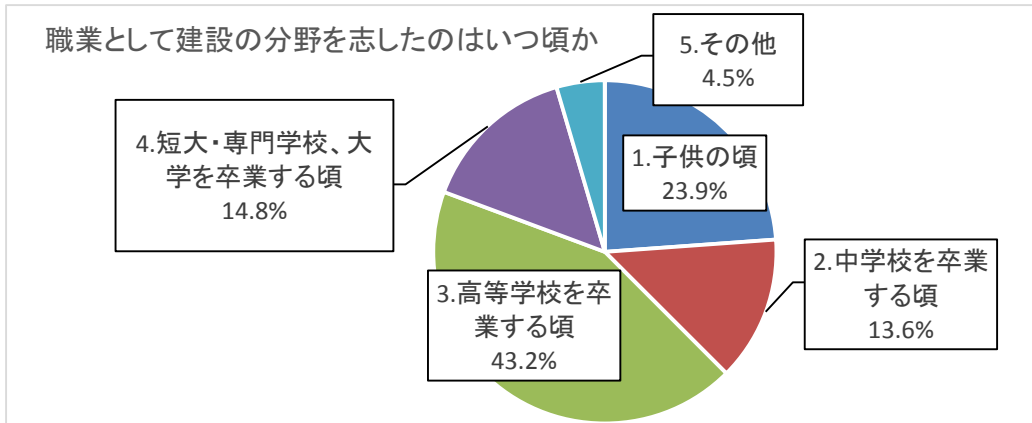
学歴別にみると、高卒、短大・専門学校卒で「学校の先生」が多く、大卒では「親や兄弟」が多かった。

問4 職業として建設の分野を志したのはいつ頃か

| | 回答数 |
|---------------------|-----|
| 1. 子供の頃 | 21 |
| 2. 中学校を卒業する頃 | 12 |
| 3. 高等学校を卒業する頃 | 38 |
| 4. 短大・専門学校、大学を卒業する頃 | 13 |
| 5. その他 | 4 |

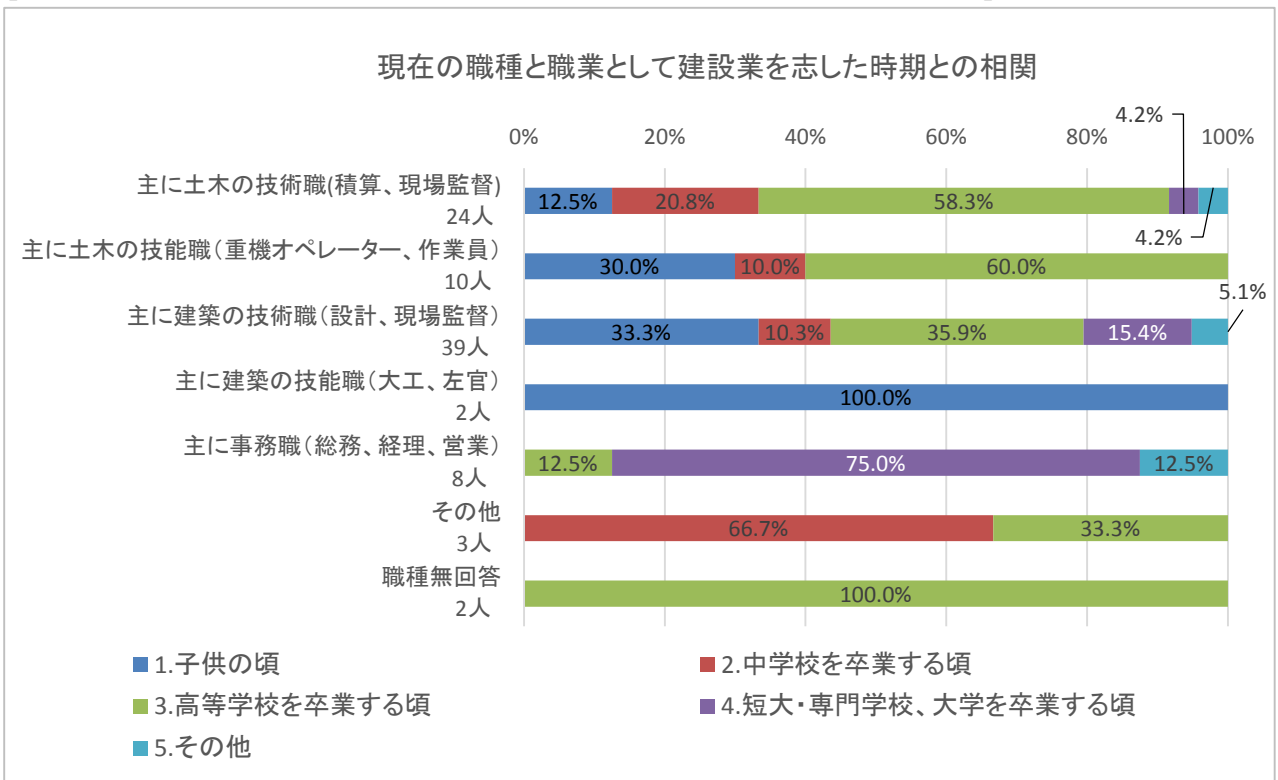
※その他

- ・ 28才の時
- ・ 高校にいる間
- ・ 紹介された会社が建設業だった
- ・ 転職を機会に



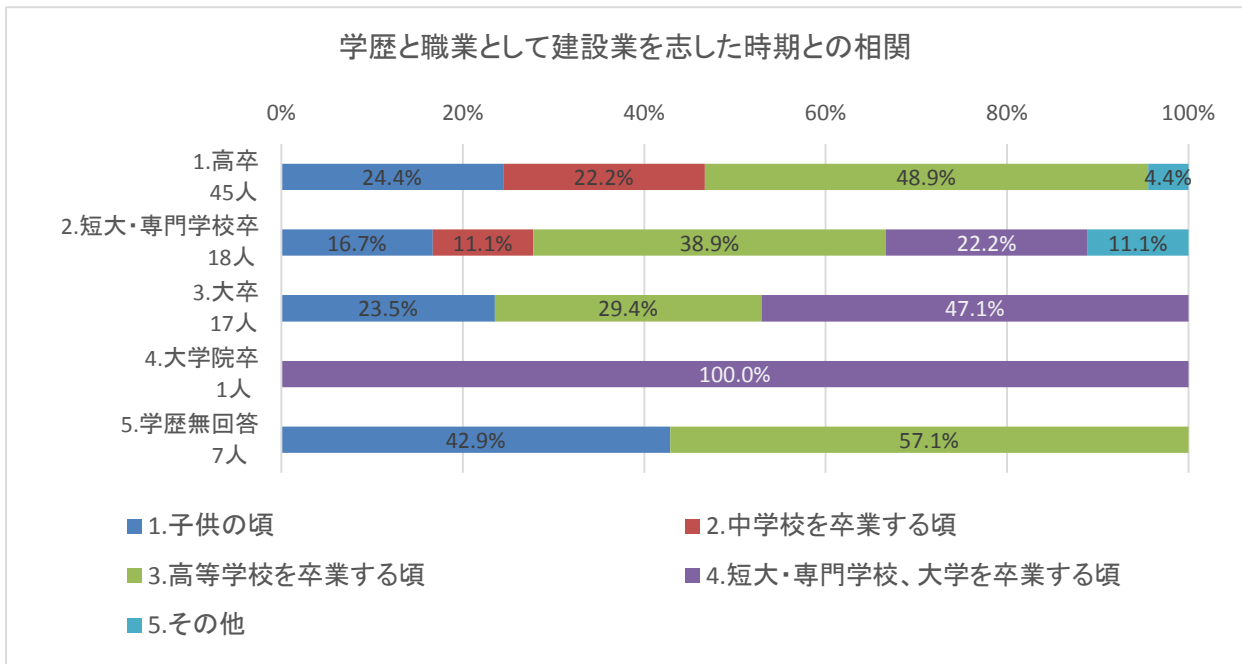
「高校を卒業する頃」が43.2%で一番多く、次に「子供の頃」が23.9%、「短大・専門学校、大学を卒業する頃」が14.8%が続いた。

【現在の職種と職業として建設業を志した時期との相関 (問1と問4の相関)】



サンプル数が少ないが、「子供の頃」を選択した割合は、「建築の技能職」、「建築の技術職」に多い傾向がみられた。

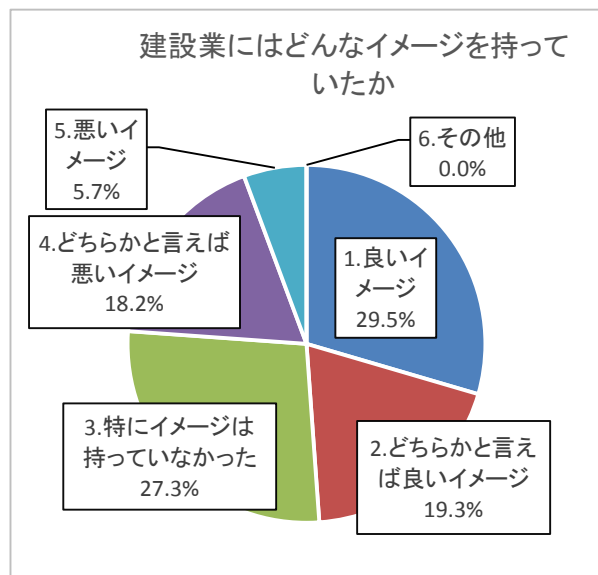
【学歴と職業として建設業を志した時期との相関（学歴と問4の相関）】



高卒で「高校を卒業する頃」、大卒で「大学（短大・専門）を卒業する頃」が約半数を占めており、短大・専門学校卒では「高校を卒業する頃」が最も多かった。

問5 職業として決めた時、建設業にはどんなイメージを持っていたか

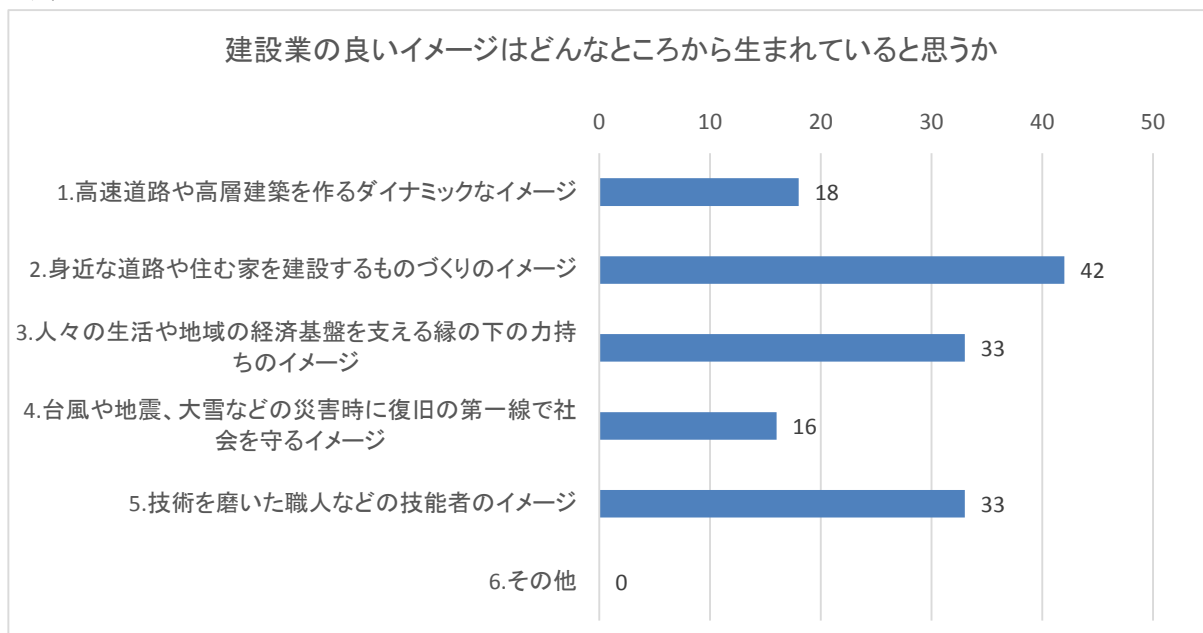
| | 回答数 |
|--------------------|-----|
| 1. 良いイメージ | 26 |
| 2. どちらかと言えば良いイメージ | 17 |
| 3. 特にイメージは持っていなかった | 24 |
| 4. どちらかと言えば悪いイメージ | 16 |
| 5. 悪いイメージ | 5 |
| 6. その他 | 0 |



「良いイメージ」と「どちらかと言えば良いイメージ」の計が48.8%で、「悪いイメージ」と「どちらかと言えば悪いイメージ」の計23.9%の倍という結果だった。

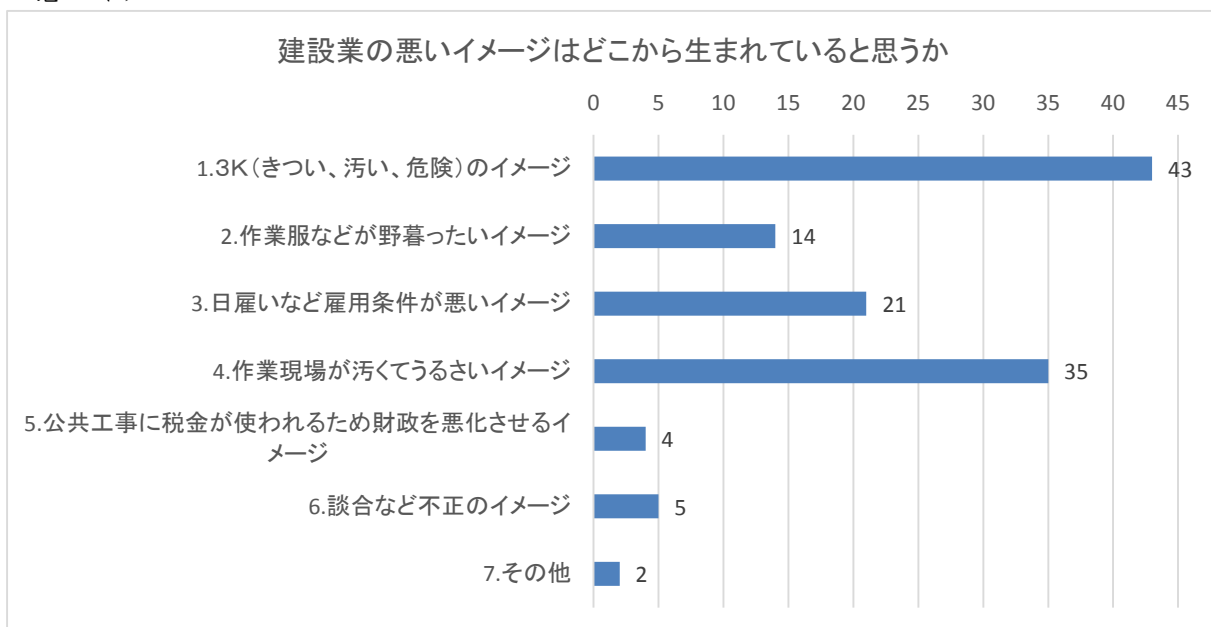
問6 建設業の良いイメージ・悪いイメージはどんなところから生まれていると思うか（2つ以内で選択、複数回答）

<良いイメージ>



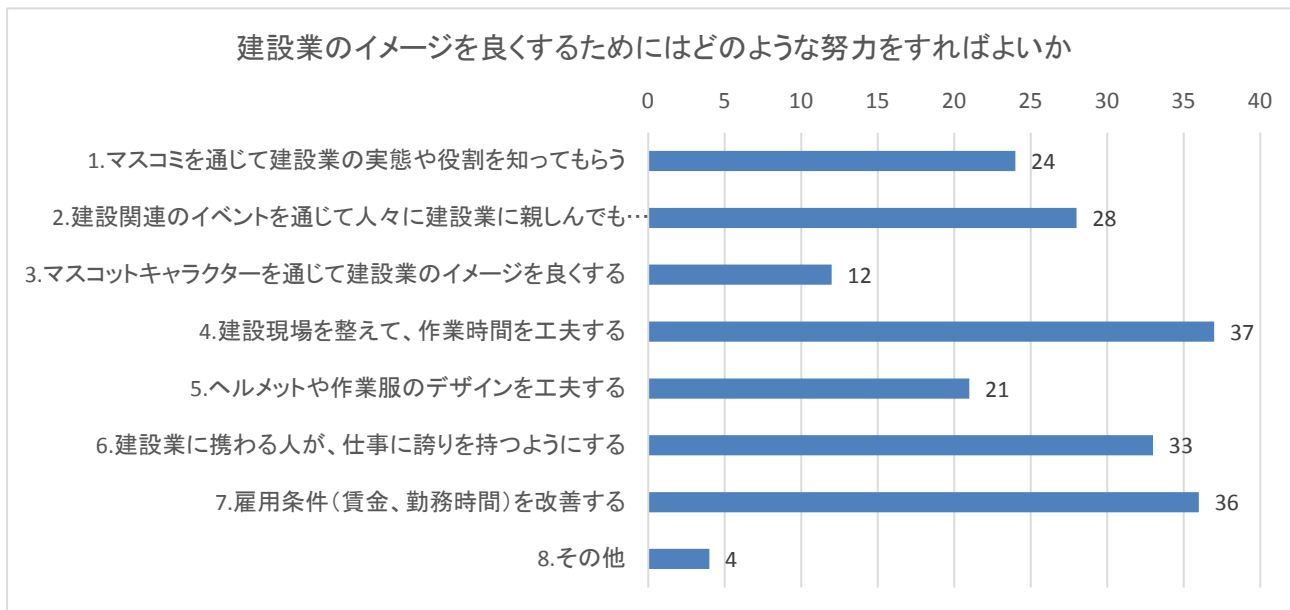
回答者の約5割の方が、「道路や家を建設するものづくりのイメージ」、約4割の方が「生活や経済基盤を支える縁の下の力持ちのイメージ」、「技能者のイメージ」を選択した。

<悪いイメージ>



回答者の約5割の方が「3Kのイメージ」、約4割の方が「作業現場が汚くてうるさい」を選択した。

問7 建設業のイメージを良くするためにはどんな努力をすれば良いか（3つ以内で選択、複数回答）

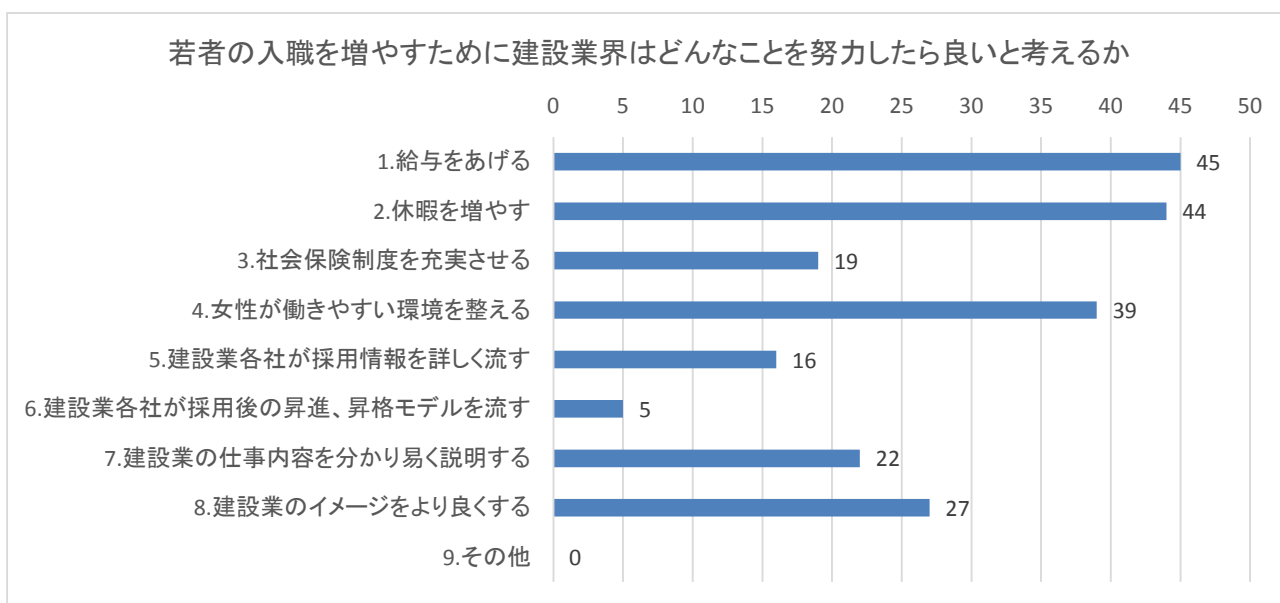


※その他

- ・一人一人が良くするように意識する
- ・身近になるようにすること。知る機会
- ・若手育成に国が力を入れていく
- ・女性雇用を増やす。

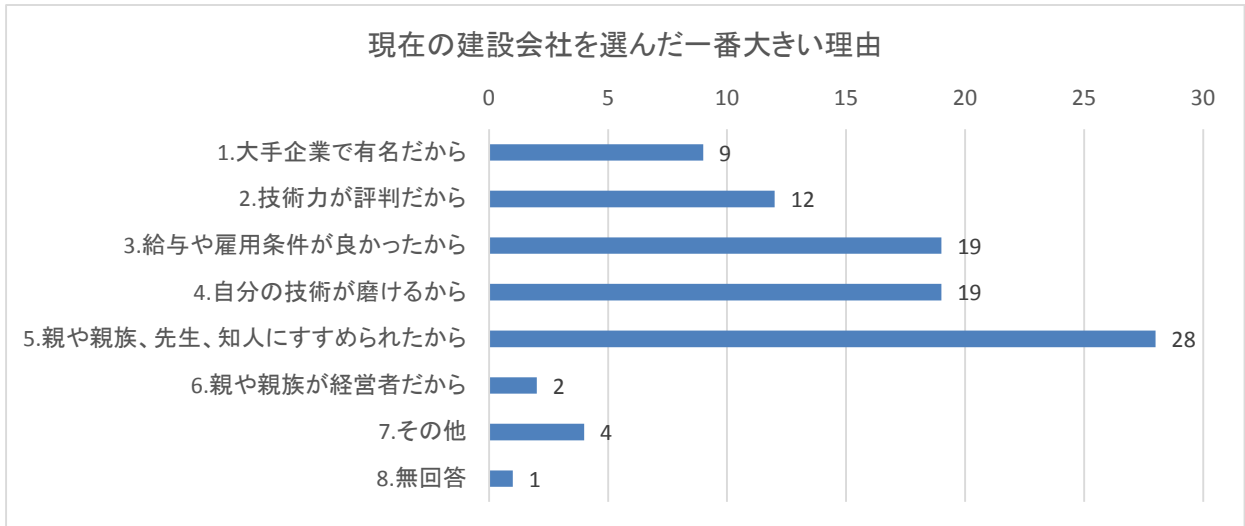
約4割の方が、「建設現場を整えて、作業時間を工夫する」、「雇用条件を改善する」、「仕事に誇りを持つようにする」を選択した。

問8 若者の建設業への入職を増やすために、建設業界はどんなことに努力したらよいと考えるか（3つ以内で選択、複数回答）



回答者の約半数が、「給与を上げる」と「休暇を増やす」を上げ、次に「女性が働きやすい環境を整える」が多かった。

問9 現在の建設会社を選んだ一番大きい理由 (一つのみ選択のところ、複数回答してしまった回答も含む)

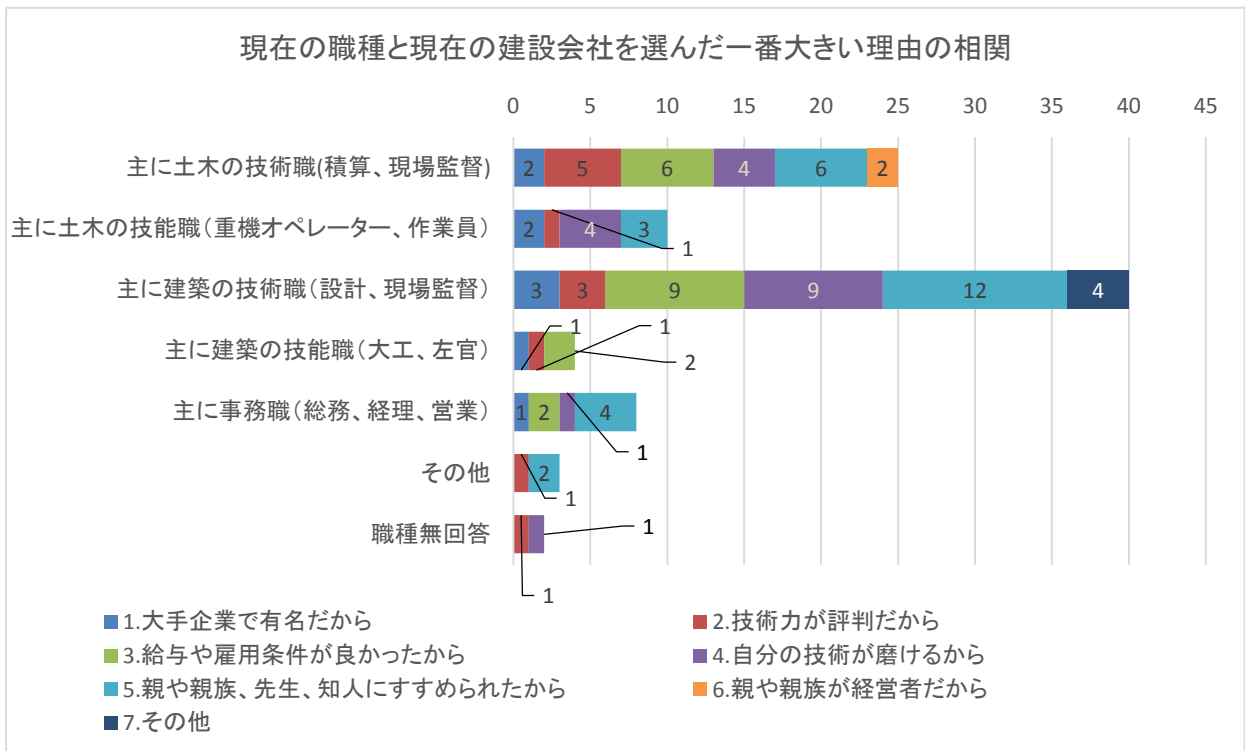


※その他

- ・家からの近い
- ・家が近い
- ・近いため
- ・非常良いイメージを受けたから

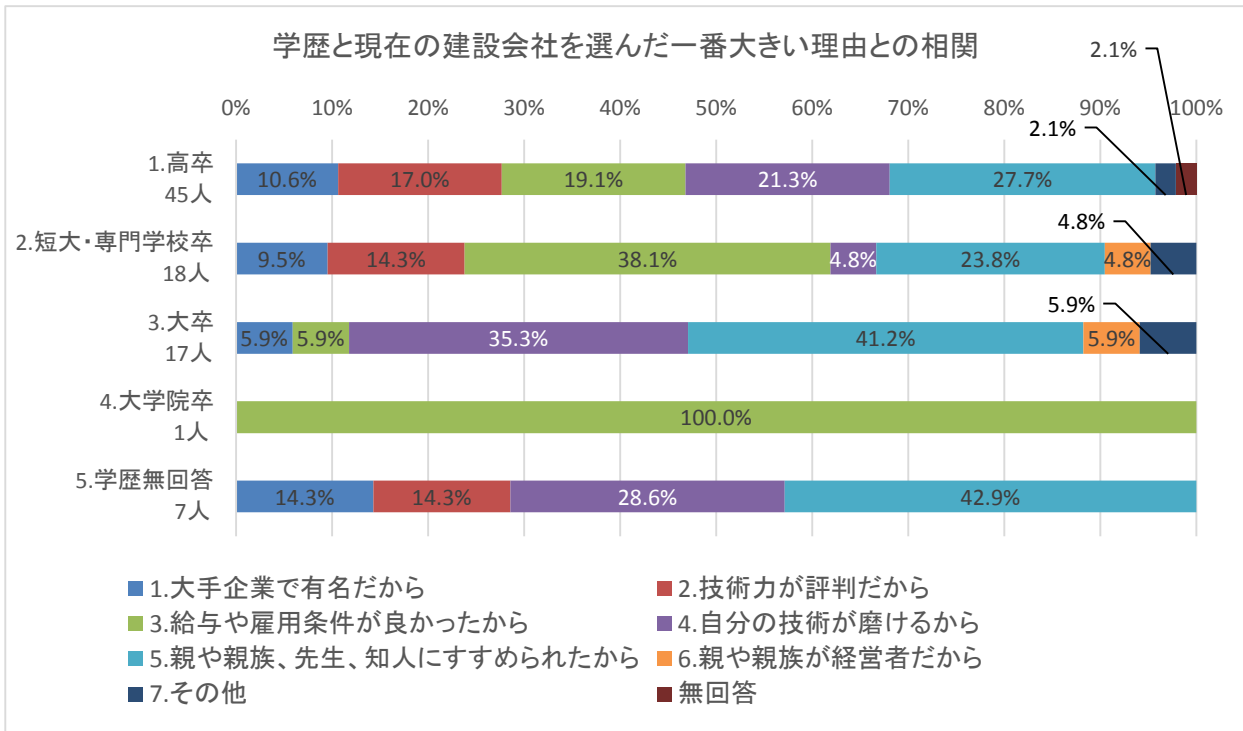
「親や先生等に勧められたから」が一番多く、「給与や雇用条件が良かったから」と「自分の技術が磨けるから」が続いた。

【現在の職種と現在の建設会社を選んだ一番大きい理由の相関 (問1と問9の相関)】



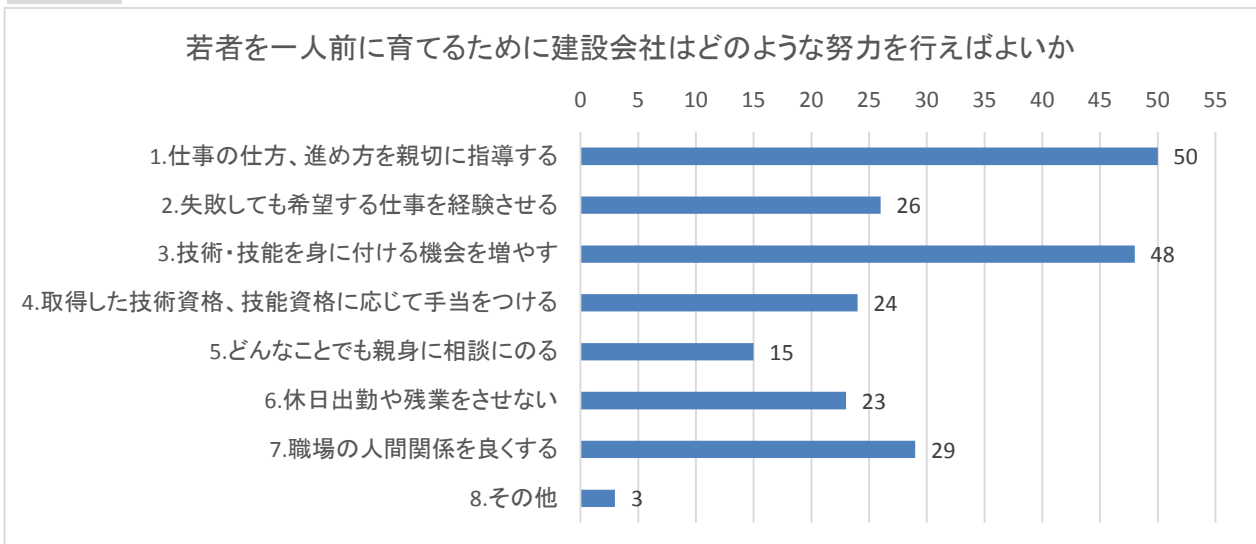
「親や先生等に勧められた」が多い傾向だが、「給与や雇用条件が良かった」や「技術力が評判だから」が技術職で多かった。

【学歴と現在の建設会社を選んだ一番大きい理由との相関（学歴と問9の相関）】



高卒・大卒で「親や親族、先生、知人にすすめられたから」が多く、短大・専門学校卒で「給与や雇用条件」が多かった。サンプル数が少ないが、「大手企業で有名」や「技術力が評判」は高卒で多い傾向が見られた。

問10 若者を一人前に育てるために、建設会社はどんな努力を行えばよいか（3つ以内で選択、複数回答）

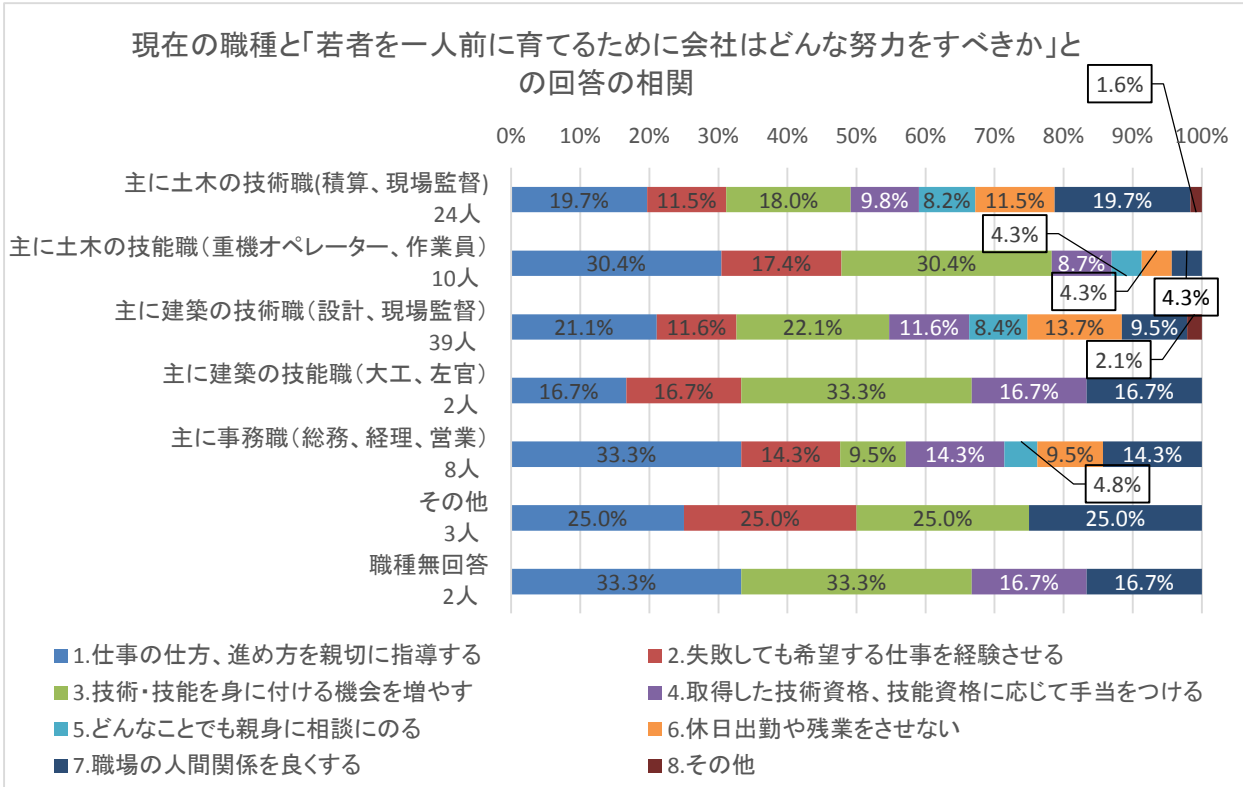


※その他

- ・実際に現場にでて学ぶ
- ・モチベーションUPの為にベースUP

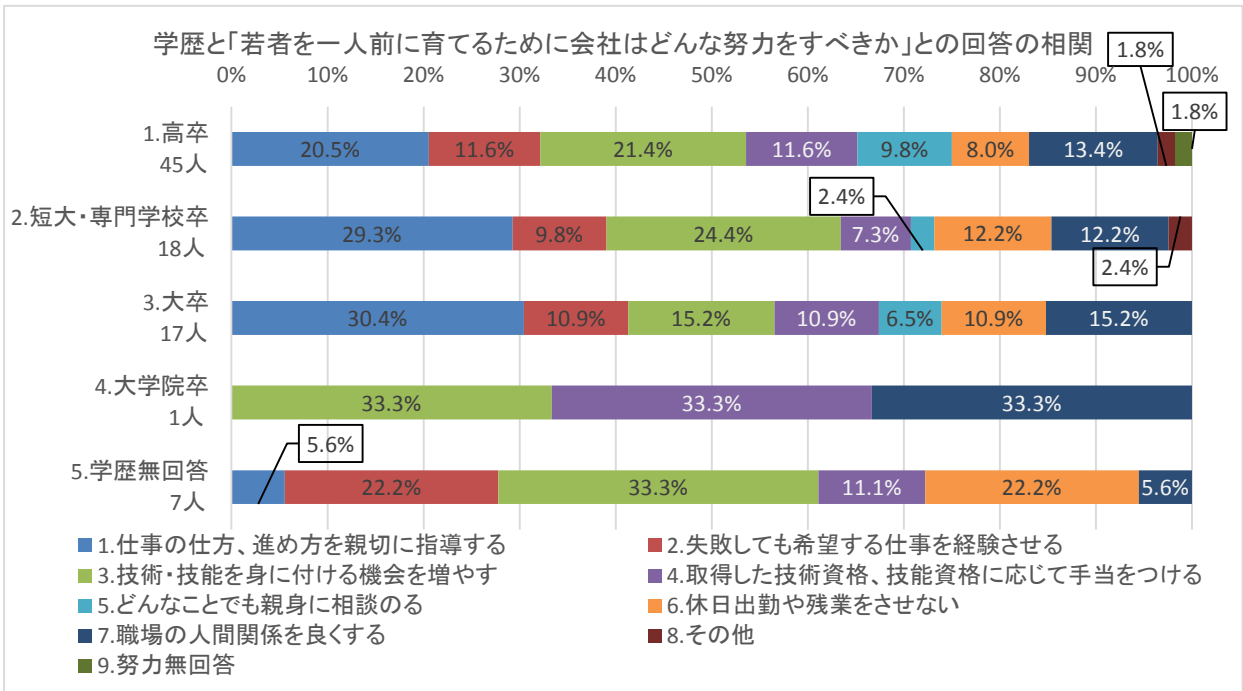
「仕事の仕方、進め方を親切に指導する」、「技術・技能を身に付ける機会を増やす」が多かった。

【現在の職種と「若者を一人前に育てるために会社はどんな努力をすべきか」との回答の相関 (問1と問10の相関)】



サンプル数は少ないが、「土木の技能職」、「建築の技能職」で「技術・技能を身に付ける機会を増やす」や「失敗しても希望する仕事を体験させる」の割合が多い傾向が見られた。

【学歴と「若者を一人前に育てるために会社はどんな努力をすべきか」との回答の相関 (学歴と問10の相関)】※複数回答のため回答人数と回答数が異なる場合がある



学歴により若干の差があるが、「仕事の仕方、進め方を親切に指導する」、「技術・技能を身に付ける機会を増やす」、「職場の人間関係を良くする」が多かった。

4. 自由意見

若者の建設業への就職を増やし、一人前に育てるためには建設業界はどんな点に努力すべきか

【1. 建設業のイメージアップについて】

- ・作業着のデザインを私服ににせる。
- ・泥臭い感じをなくす。
- ・廃材の整理（第3者から見て汚いと思わせない）労働時間の見直し。
- ・もっと、テレビやラジオなどで公開する。
- ・メディアを活用して建設業にどのようなやりがいがあるのかを明確に伝える。
- ・周りに思ったほど悪くないと言う。
- ・”低学歴、馬鹿がやる仕事”というイメージを変える！ダサイ格好をしている人間、社会的に不適切なことをしている人間をつくらない様に、直す力が求められると思う。
- ・マンツーマンの指導など。
- ・仕事が難しく頭もつかい勉強が必要なことを一般に理解してもらう。
- ・休日出勤・残業を減らす。
- ・3Kのイメージをなくす。建設業はこんなところというかたちで宣伝する。
- ・3Kの徹底排除。給料を上げる。やむを得ない場合以外の土日出勤の排除。
- ・良いイメージを印象づける。
- ・積極的なイベント活動やマスコットキャラクター作り。
- ・近くの学校に説明や解説をしに行く。
- ・大きい仕事をマスコミでやる。
- ・（イメージアップを）するべき。
- ・作業服のイメージを無くす。
- ・3Kの改善。

【2. 求人方法】

- ・会社の事をこまかくかく。
- ・初心者でも会社に受け入れる。
- ・正しいことを書く。
- ・小さな会社でもリクナビ、マイナビなどのリクルートサイトに登録してもらう。
- ・新人なのでまだわからない。
- ・理系一辺倒の”専門職でなければ×”というやり方を失くすべき。
- ・会社で働いている人間がどういう人なのかかわかると、良いと思います。
- ・なるべく詳しく情報を発信する。
- ・高卒の若い人を増やす。
- ・固定残業じゃなく残業した分はもらえるようにしてほしい。
- ・より身近で分かりやすく。
- ・求人サイトに求人をのせたり学校などに行って宣伝したりして名前を知ってもらう。
- ・休日、給料などの情報の詳細の記載。
- ・わかりやすくする。
- ・より具体的な仕事内容の説明。昇給、手当、資格制度など待遇面での特色。
- ・いままでどおりでいいと思う。
- ・求人票と雇用契約書の相違が大きいので不信感を持つ。ボーナス支給が有ると書かれていたのに実質無かったなど。会社の内情が分かるようにHPを活用する。
- ・インターネットを活用。
- ・給与、休日は重視する人が多いその他に福利厚生面の面も大きい。

【3. 新人の育て方】

- ・ 1対1でおしえる。
- ・ 作業をしながら教える。
- ・ 聞きやすい環境を作る。
- ・ 細かく説明すること。
- ・ 何でも聞きやすくなるような職場環境。見て覚えるだけではなく、しっかりとした説明を簡潔に話づける。
- ・ 現場で分からない事を常に質問させる。
- ・ 新人なのでまだわからない。
- ・ コミュニケーションをしっかり取る。あまり可愛いがりすぎない。
- ・ 新人には指導者をつける。ベテランの先輩ではなくなるべく年の近い先輩を指導者にとすると、意見を言いやすかったり、普段の会話がはずみ人間関係が良くなったりして、続けられると思います。
- ・ アメとムチを使い分ける。
- ・ 何度もしっかりと理解できるように説明をする。
- ・ 分からない。
- ・ しっかり仕事の流れを教えてすぐにできるというより長くみて新人を教えていく。
- ・ 少しずつ覚えていく。指示を出してやる。
- ・ なるべくゆっくり丁寧に教えてほしいと思うので、時間をかけて指導してほしい。
- ・ 新人にきちんと仕事を教えてくれる人がいると、とても助かるし、わからないことも聞きやすい。
- ・ 親切に教える。
- ・ もっとくわしく指導してほしい。
- ・ 「見て覚える」「昔はこうだった」など頭が固い。職人氣質な人が多く、正直何をして良いのか分からない。もう少し、分かりやすく教えて欲しい。「昔」ではなく「今」をもっと見て欲しい。
- ・ 初めから厳しく教えて、後でこうかいしないように教える。
- ・ 昔のやり方だけでは若者は追いつけない。パワハラとしか感じない。褒めて伸ばす方針の方が仕事を続けていけるモチベーションになると思う。しかし、甘やかしてばかりでも成長にならないので時に厳しくして欲しい。
- ・ 新人研修。
- ・ 分かりやすいプログラム。
- ・ 間違った時の注意の工夫をしてもらう。昔と同様の指導、注意の仕方ではすぐ辞めてしまう。
- ・ 小さな事でも達成感、責任感をもてるように仕事を与え、覚えやすい用 P o i n t をまとめ本などを作る。

【4. その他】

- ・ 汚れた姿やタバコなどが悪いイメージの大きな部分だと思う。それを改善しなければならない。
- ・ 受験資格が取得できるまでの年数短縮か、もう一段下の（3級等）の資格が出来るとモチベーションも上がり増えるかもしれません。
- ・ 親族経営を風習化させず実力や能力を重視した人事を行う。

5. 新入社員アンケート調査票

平成27年 4月16日
一般社団法人群馬県建設業協会

【調査の目的】

建設産業では、担い手が中長期的には非常に不足すると予測されています。

このアンケートは、会員企業の新入社員の皆様に、職業として建設業を選んだ理由や建設業のイメージ等をお聞きして、若い方々の建設業への入職を進めるための基礎資料を得るために実施します。よろしくご協力をお願い致します。 **※回答者氏名は無記名です。**

【お願い】

設問ごとに選択した番号を○で囲み、「その他」を選択した場合は、()内にその理由を記載して下さい。

◇回答者の属性

性別 1. 男性 2. 女性

年齢 1. 20歳未満 2. 20~23歳未満 3. 23~26歳未満 4. 26歳以上

学歴 1. 高卒 2. 短大・専門学校卒 3. 大卒 4. 大学院卒

問1 あなたの今の職種をお尋ねします。

1. 主に土木の技術職（積算、現場監督）
2. 主に土木の技能職（重機オペレーター、作業員）
3. 主に建築の技術職（設計、現場監督）
4. 主に建築の技能職（大工、左官）
5. 主に事務職（総務、経理、営業）
6. その他（ ）

問2 職業として建設業を選んだ一番大きい理由は何ですか？

1. 道路の建設や建物の建築など建設の仕事がしたいから
2. 建設系の学校で学んだことを生かしたいから
3. 実家が建設業だから
4. 親や知人に勧められたから
5. 雇用条件が納得できたから
6. 家からの通勤が便利だから
7. その他（ ）

問3 入社するに際して誰かに相談したり助言や勧めを受けましたか？

1. 受けた
2. 受けなかった

問3-2 問3で「受けた」を選択した方にお聞きします。

一番影響を受けた助言や勧めは誰から受けましたか？

1. 学校の先生
2. 先輩や友人
3. 親や兄弟
4. 親戚
5. その他 ()

問4 職業として、建設の分野を志したのはいつごろですか？

1. 子供の頃
2. 中学校を卒業する頃
3. 高等学校を卒業する頃.
4. 短大・専門学校、大学を卒業する頃
5. その他 ()

問5 職業として決めた時、建設業にはどんなイメージをお持ちでしたか？

1. 良いイメージ
2. どちらかと言えば良いイメージ
3. 特にイメージは持っていなかった
4. どちらかと言えば悪いイメージ
5. 悪いイメージ
6. その他 ()

問6 建設業の良いイメージ又は悪いイメージはどんなところから生まれていると思いますか？ 良いイメージ、悪いイメージごとにお答えください。

【良いイメージ】 この設問は、2つ以内で選んで下さい。

1. 高速道路や高層建築を造るダイナミックなイメージ
2. 身近な道路や住む家を建設するものづくりのイメージ
3. 人々の生活や地域の経済基盤を支える縁の下の力持ちのイメージ
4. 台風や地震、大雪などの災害時に復旧の第一線で社会を守るイメージ
5. 技術を磨いた職人などの技能者のイメージ
6. その他 ()

【悪いイメージ】 この設問は、で選んで下さい。

1. 3K（きつい、汚い、危険）のイメージ
2. 作業服などが野暮ったいイメージ
3. 日雇いなど雇用条件が悪いイメージ
4. 作業現場が汚くてうるさいイメージ
5. 公共工事に税金が使われるため財政を悪化させるイメージ
6. 談合など不正のイメージ
7. その他（）

問7 建設業のイメージを良くするにはどんな努力をしたら良いでしょうか？

この設問は、で選んで下さい。

1. マスコミを通じて建設業の実態や役割を知ってもらう
2. 建設関連のイベントを通じて人々に建設業に親しんでもらう
3. マスコットキャラクターを通じて建設業のイメージを良くする
4. 建設現場を整えて、作業時間を工夫する
5. ヘルメットや作業服のデザインを工夫する
6. 建設業に携わる人が、仕事に誇りを持つようにする
7. 雇用条件（賃金、勤務時間）を改善する
8. その他（）

問8 若者の建設業への入職を増やすために建設業界はどんなことに努力したら良いと考え

ますか？ この設問は、で選んで下さい。

1. 給与を上げる
2. 休暇を増やす
3. 社会保険制度を充実する
4. 女性が働きやすい環境を整える
5. 建設業各社が採用情報を詳しく流す
6. 建設業各社が採用後の昇進、昇格モデルを流す
7. 建設業の仕事内容を分かり易く説明する
8. 建設業のイメージをより良くする
9. その他（）

問9 現在の建設会社を選んだ一番大きい理由は何ですか？

1. 大手企業で有名だから
2. 技術力が評判だから

3. 給与や雇用条件が良かったから
4. 自分の技術が磨けるから
5. 親や親族、先生、知人にすすめられたから
6. 親や親族が経営者だから
7. その他 ()

問10 建設業に就職した若者を一人前に育てるために建設会社はどんなところに努力したら良いと考えますか？ この設問は、3つ以内で選んで下さい。

1. 仕事の仕方、進め方を親切に指導する
2. 失敗しても希望する仕事を経験させる
3. 技術・技能を身に付ける機会を増やす
4. 取得した技術資格、技能資格に応じて手当をつける
5. どんなことでも親身に相談にのる
6. 休日出勤や残業をさせない
7. 職場の人間関係を良くする
8. その他 ()

◇自由意見

若者の建設業への就職を増やし、一人前に育てるためには建設業界はどんな点に努力すべきでしょうか。自由なご意見、アイデアをお聞かせください。

| | |
|-----------------|--|
| 1 建設業のイメージアップ : | |
| 2 求人の方法 : | |
| 3 新人の育てかた : | |
| 4 その他 : | |

ご協力いただきありがとうございました。アンケートは出口の回収ボックスに投函してください。



ぐんけんくん

一般社団法人群馬県建設業協会
〒371-0846 群馬県前橋市元総社町 2-5-3
TEL 027-252-1666 FAX 027-252-1993
HP <http://www.gun-ken.or.jp/>